

1 題材名 地球にやさしい!かしこい衣服のOH!せんたく

2 題材について

児童の実態

本学級の児童の多くは、家庭科が好きで、生活に役立つととらえている。簡単な調理や清掃の工夫に関しては、家庭でも実践しようとする様子が見られ、「よく手伝いをするようになった」という保護者の声も多数聞かれる。しかし、調理や清掃に比べると、季節に応じて衣服を選ぶことや洗濯については保護者任せになっている児童の割合が高い。

これまで本学級では、主に総合的な学習の時間を通して、普段の生き方が周りに与える影響について考えてきた。「衣服への関心」の内容においても、冷暖房のしすぎや洗剤・水の使いすぎによる環境への影響と関連付けることで、それぞれの児童が自分たちの問題として意識しながら取り組むことができると考える。

題材のねらい

本題材は、内容項目(2)「衣服への関心」について、衣服の働きや手入れの必要性を理解した上で、日常着の快適な着方を工夫したり、洗濯ができるようになったりすることをねらいとして設定した。

ここでは、衣服のもつ、外気やけがなどから身を守る働き、衛生面での働き、生活活動上での働きについて、形状や布地による違いに着目して考えることを通して、季節や生活場面に応じて衣服を自ら選択し、快適に着用することができるようにする。また、衣服の働きを維持していくための手入れとして洗濯を取り上げ、手洗いと洗濯機洗いのそれぞれのよさ、適切な洗剤や水の量、布地に合った洗濯の仕方について考えることを通して、手洗いを中心とした洗濯ができるようにする。その際、実験により確かめながら理解を深めることで、衣服の着方を工夫したり、手入れをしたりしようとする意欲や必要感の高まりを促し、家庭生活での実践へと結び付けていくことができると考える。

指導にあたって

◇ 問題解決的な学習

衣服の「せんたく」を、「選択」と「洗濯」の2つの意味からとらえて題材を構成し、その必要性やよりよい方法について話し合ったことを、実際に確かめることで理解し、自分の生活に結びつけていくように学習の流れを工夫した。

まず、季節や生活場面に合った衣服の違いに目を向け、衣服の働きやよりよい着方に気付くことができるようにする。その際、衣服の形状や布地、場の状況といった視点を明らかにすることで、改めて衣服を観察したり、実験したりしながら、問題意識をもって自分の衣服の着方について見直すことができるようにする。

次に、衣服の働きを維持するための洗濯について、家庭での取材から工夫している点や疑問点を見付け出していき、そこに、環境に配慮しつつ効果的に汚れを落とすにはどうするとよいかという視点をもたせることで、自分たちの見付けた工夫や疑問について意欲的に調べたり、考えたりすることができるようにする。

児童の問いや迷いについて実際にやってみて、確かめながら学習を進めることで、家庭での実践意欲を引き出し、自信をもって取り組むことができるようにする。

◇ 基礎・基本の定着

衣服の着方や洗濯の方法について実験して確認することで、より確実な理解を図り、家庭生活に生かそうとする意欲へとつなげていく。

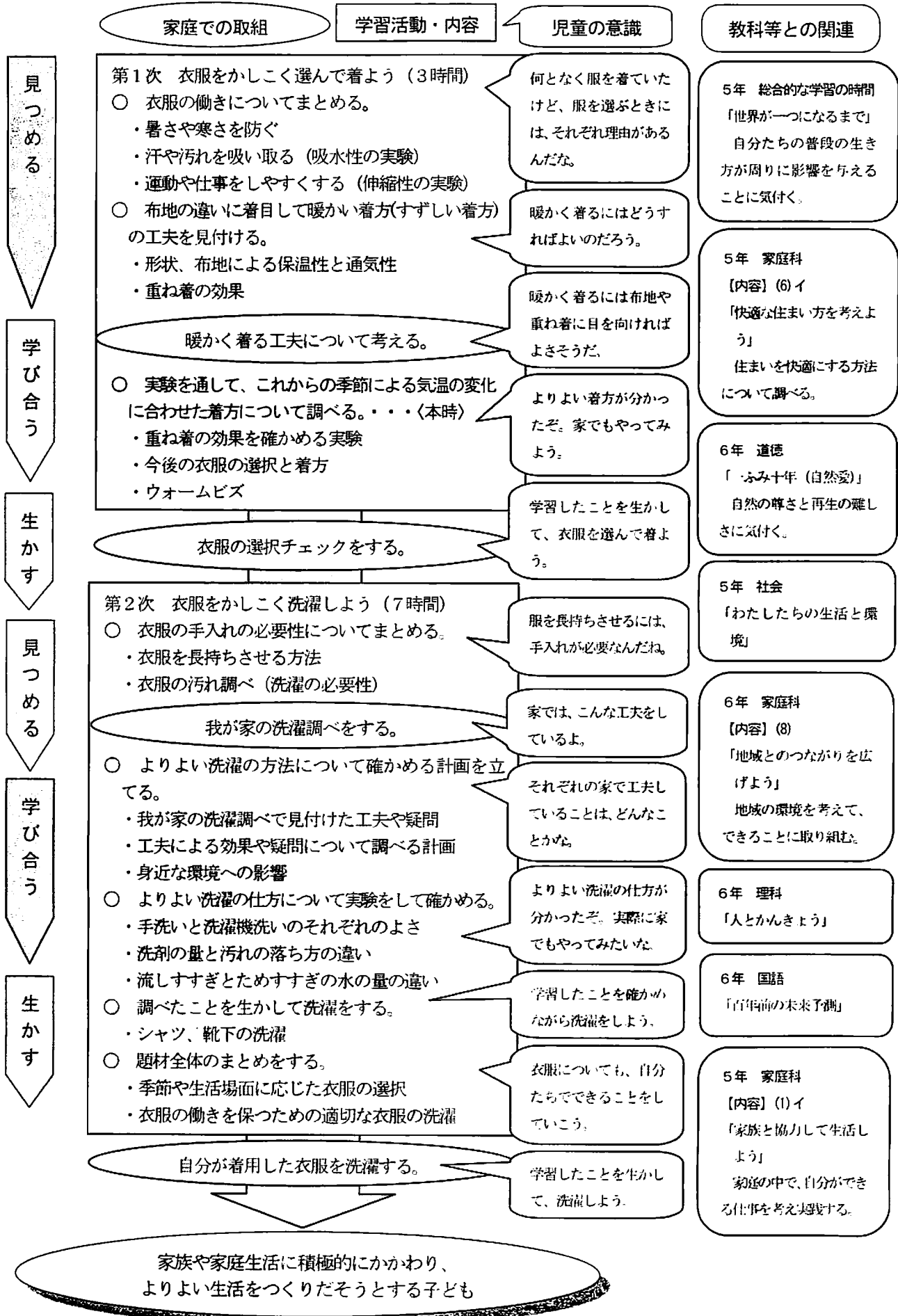
◇ 他教科や総合的な学習等との関連付け

実践意欲を高め、家庭生活に結びつけていくために、これまで学習してきた地球温暖化や水質汚染と日常生活との結びつきを意識させることで、より切実感を生み出すことができると考える。

3 題材の目標

- 衣服の働きや日常着の着方と手入れに関心を持ち、自分の衣服を整えようとする。(関心・意欲・態度)
- 衣服の着方や手入れの仕方について考え、目的に応じて自分なりに工夫する。(創意工夫)
- 衣服を大切に扱い、目的に合った衣服の着方や適切な方法で衣服の手入れをすることができる。(技能)
- 衣服の働きや目的に合った着方、手入れの必要性や適切な方法を理解する。(知識・理解)

4 題材構想図 「地球にやさしい!かしこい衣服のOH!せんたく」(全10単位時間)



5 指導と評価の計画

| | | 【関】家庭生活への 関心・意欲・態度 | 【創】生活を創意 工夫する能力 | 【技】生活の技能 | 【知】家庭生活につ いての知識・理解 |
|-------------|---|--|---|--|--|
| | | 本題材の評価規準 | | | |
| 【内容 (2) アイ】 | | 衣服に関心をも ち、日常着を気持ち よく着たり、手入れ をしたりしようとし ている。 | 衣生活を見直し、 日常着の着方と手入 れについて考えたり、自分なりに工夫 したりしている。 | 日常着の着方と手 入れに関する基礎的 な技能を身に付けて いる。 | 衣服の働きが分か り、日常着の着方と 手入れについて理解 している。 |
| 次 | 時 | 学習活動における具体的評価規準 | | | |
| 第一 次 | 1 | なぜ、この服がよ いのかを考えること を通して、衣服の働 きに気付くことがで きる。 | 季節や生活場面に 応じた衣服の働きに ついて、関心を持ち、 進んで考えようとし ている。(ノート) | | 衣服には、季節や 生活場面に応じて、 様々な働きがあるこ とを理解している。 (ノート) |
| | 2 | 布地に着目して夏 服と冬服を比較する ことを通して、暖か い着方の工夫を見付 けることができる。 | 布地の違いや重ね 着に目を向け、暖か い着方について考え ようとしている。 (ノート) | | |
| | 3 (60) 本時 | 重ね着の効果につ いて確かめること を通して、これからの 季節による気温の変 化に応じた衣服の選 び方について、自分 なりの意見をもつこ とができる。 | | 実験結果をもと に、これからの季節 による気温の変化に 応じて、どのように 衣服を選んでいくか 考えている。 (発言・ワークシート) | |
| 第二 次 | 4 | 衣服を長持ちさせ る方法について話し 合うことを通して、 手入れの必要性に気 付くことができる。 | | | 衣服の手入れの必 要性について理解し ている。(ノート) |
| | 5 | 我が家の洗濯の工 夫について話し合う ことを通して、より よい洗濯の方法につ いて確かめる計画を 立てることができる。 | 適切な洗濯の仕方 について進んで考え ようとしている。 (発言・ノート・自学ノート) | | |
| | 6 | 洗濯の工夫につ いて確かめる実験を通 して、布地や環境の ことを考えた適切な 洗濯の方法を理解す ることができる。 | | | 布地や環境のこ とを考えた適切な洗濯 の方法を理解してい る。(ワークシート) |
| | 7 (30) | | | | |
| | 8 | 実験で確かめたこ とを生かして、適切 な方法で洗濯をする ことができる。 | | 布地の種類や量に 応じて、洗剤や水の 使用量、洗い方やす すぎ方を工夫してい る。 (実習・ノート) | 布地の種類や量、 洗剤や水の量、洗い 方やすすぎ方を考え て、適切な方法で洗 濯をすることができる。 (実習) |
| 9 | | | | | |
| 10 | 題材全体を振り返 り、学習のまとめを することを通して、 家庭での実践意欲を 高めることができ る。 | 衣服の選択・洗濯 と環境との関連を意 識して、家庭生活に 生かそうという気持 ちを高めている。 (発言・ノート) | | | |

6 本時の学習指導

(1) 本時の目標

前時に考えた重ね着の効果について確かめることを通して、これからの季節による気温の変化に応じた衣服の選び方について、自分なりの意見をもつことができる。

(2) 学習指導過程

| 学習活動・内容と予想される児童の意識 | 支援と評価 |
|--|---|
| <p>1 自分の服の選び方について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 選んだ服と選んだ理由 (服の種類、枚数、布の厚さ、形) 暖かい着方の工夫 <p>私は、体操服、トレーナー、ジャンパーを着るよ。服を重ねた方が暖かいよ。 ぼくは、体操服の上ですぐコートだけだ。着替えも楽だし、厚みがあるから暖かいよ。</p> | <p>(発) 真冬の持久走大会で、下級生のお世話をしながら順番を待つ間、どんな服を着ますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童に共通する具体的な場面を設定し、家庭から実際に持参した服を選ぶことで、イメージを共有しながら話し合いができるようにする。 なぜその服を選んで着るのか理由を整理していくことで、暖かさを生み出す重ね着の効果(冷たい外気が入らない、体温を逃さない)に目を向けることができるようにする。 服を選ぶ際の児童の迷いを取り上げ、実験により確かめていく内容を明らかにする。 |
| <p>どんな服を、どのように着たらかしこい着方ができるのだろう。</p> | |
| <p>2 重ね着の効果について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷たい外気が入らないこと(通気性) 体温を逃さないこと(保温性) <p>1着だと風をよく通すけど、重ねるとほとんど風を通さないね。 1着に比べて、重ねると保温性は高まるね。 布地によって保温性が違うんだね。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 児童が持ってきた服で確かめることで、実験の結果と自分たちの生活とを関連付けて考えられるようにする。 布地にドライヤーの風を当てたときの風の通し具合を、1着の場合と重ねた場合とで比べ、重ね着の効果を実感できるようにする。 衣服でくんだペットボトル内の湯温が下がる様子を、1着の場合や様々な布地の服を重ねた場合などで比較し、重ね着の仕方によって保温性が変わることを実感できるようにする。 空気層ができることで保温性が高まることが分かる資料を提示することで、重ね着との関連を考えさせる。 |
| <p>3 調べた結果をもとにして、自分の服の選び方を見つめ直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験から分かった重ね着の効果 自分の選び方のよい点と課題 <p>私は、よい選び方ができた。一番外側に風を通さない服、内側には厚い布地のトレーナーを選んだから。 ぼくは、まあまあの選び方だな。コート1枚だけなので、動いていて暑くなっても調整できないから。</p> | <p>(発) 自分の服の選び方はどうだったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 初めに考えていた自分の服の選び方を評価し、その理由を話し合うことで、実験から分かった重ね着の効果について整理する。 持久走大会で自分たちがすることを具体的に示すことで、体の動かしやすさや衣服の着脱のしやすさなどを考える必要性にも気付かせる。 |
| <p>4 これから自分が取り組む、賢い衣服の選び方・着方についてワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 布地や形を考えた選び方・着方 季節による気温の変化や場面の状況に応じて、調節することを考えた重ね着 <p>季節による気温の変化や場面の状況に応じた重ね着をするため、布地や形を考えて、賢く服を選んで着よう。</p> | <p>(発) これから衣服を選ぶときに、どんなことに気を付けますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節による気温の変化と共に、場面の状況に応じて重ね着を調節することにも目を向けるようにする。 ウォームピズにふれ、衣服の選択の重要性を意識させることで、実践意欲を高める。 <p>(評) 実験結果をもとに、これからの季節による気温の変化に応じて、どのように衣服を選んでいくか考えている。 【創意工夫】(発言・ワークシート)</p> |